

ちょっといいお便りをいただきました

6年半の難病と透析生活を送られ、お亡くなりになられたご家族より相生RCでの闘病生活について、先生を始めスタッフの方々への感謝のお手紙を私宛に頂きましたので、その一部を抜粋してご紹介いたします。その内容は的確な診断と治療のお蔭で

“おまけの人生6年半、旅行や家族、友達の集まり等楽しいこともたくさんあり、母の笑顔の写真がいっぱいです。これも先生が母の難しい病気を見つけて下さったおかげです。

また、看護師さんやスタッフの方々は、患者さんだけでなくどなたに対しても、やさしく明るく接してくださいました。

特に、亡くなる2ヶ月前ほどから、透析中にも、体のいろんな所が痛みだし、辛かったようで、「今日も看護師さんが体をさすってくれたんよ」と言っていました。

本当に感謝です。有難うございました。

いい病院で最期を迎えられて、母自身も私共家族も良かったと思っています。”

と書かれていました。ご家族様の私共に対する感謝のお言葉を励みに、一層頑張りますとお礼状を出しました。

平成24年6月29日

理事長 市丸 喜一郎